

中南米地域における農林水産分野での取組

令和4年3月
農林水産省

農水産物・食品の輸出促進

2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする目標の実現に向けて、官民一体となった海外での販売力の強化、マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し、省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等を支援。

<支援策の全体像>

1 品目別輸出目標の達成に向けた官民一体となった海外での販売力の強化

- (1) マーケットインによる海外での販売力の強化
- (2) 食産業の海外展開の後押し

2 マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し

- (1) 輸出産地の育成・展開
- (2) 地域産業の強みを活かした加工食品の輸出の取組支援

3 省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等

- (1) 規制の緩和・撤廃に向けた協議の加速化
- (2) 輸出手続の円滑化、利便性の向上
- (3) 生産段階での食品安全規制への対応強化
- (4) 輸出向け施設の整備
- (5) 知的財産の流出防止、侵害対策

<中南米への輸出の現状>

輸出先	輸出額 (億円)	全輸出額に 占める割合 (%)	輸出額の多い 品目
中南米	50.1	0.43	
ブラジル	16.7	0.14	播種用の種、調味料、 アルコール飲料
メキシコ	13.7	0.12	アルコール飲料、牛 肉、調味料
チリ	9.5	0.08	魚油（肝油除く）、 播種用の種、菓子 （米菓除く）
コロンビア	2.6	0.02	播種用の種、植物 性油脂、アルコール 飲料

2030年輸出 5 兆円目標の実現に向けた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の実施

【令和 4 年度予算概算決定額 10,787（9,908）百万円】
（令和 3 年度補正予算額 43,291 百万円）

<対策のポイント>

5 兆円目標の実現に向けて、官民一体となった海外での販売力の強化、マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し、省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等を支援。

<政策目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2 兆円〔2025年まで〕、5 兆円〔2030年まで〕）

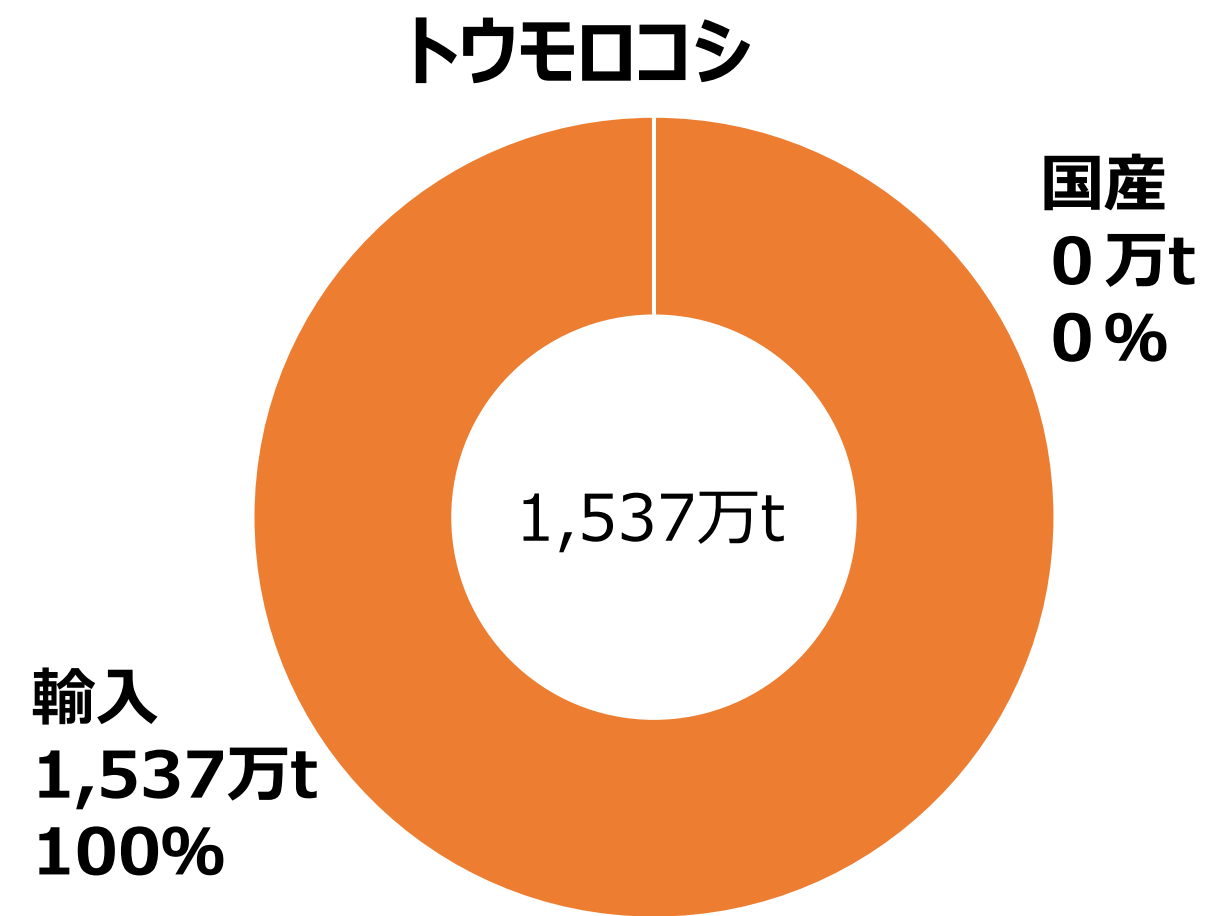
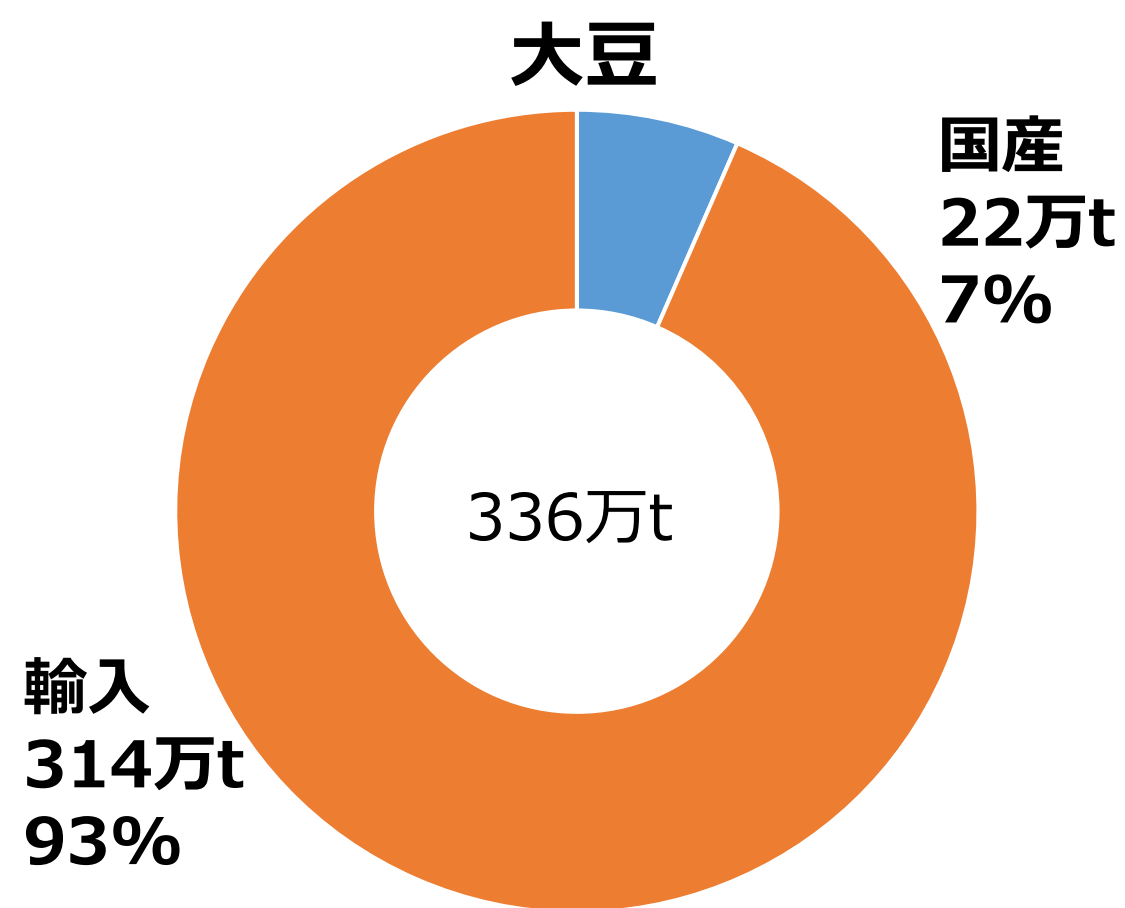
<事業の全体像>

1 品目別輸出目標の達成に向けた官民一体となった海外での販売力の強化【35億円】	2 マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者の後押し【14億円】
（1）マーケットインによる海外での販売力の強化 - 品目団体が輸出重点品目についてオールジャパンで行う海外販路開拓・市場調査等の輸出力強化に向けた取組を支援 - J E T R O・J F O O D Oが行う、品目団体等と連携した販路開拓や戦略的プロモーション等を支援 - 主要な輸出先国・地域において、J E T R O 海外事務所を活用し、在外公館等と連携してプラットフォームを立ち上げ、輸出事業者を専門的かつ継続的に支援 - 海外料理人の育成や日本産食材サポーター店の拡大、海外消費者等に対する情報発信等を通じた日本食・食文化の魅力発信を支援 （2）食産業の海外展開の後押し - 食産業の海外展開を促進するため、官民協議会を通じた海外展開への支援、実践的な海外展開ガイドラインの策定等を実施等	（1）輸出産地の育成・展開 - 輸出産地サポーター等を活用した輸出産地の育成、輸出産地による輸出事業計画の策定や実行の取組を支援 - G F Pを活用した、輸出産地サポーターの活動強化、輸出産地を海外市場と繋げる地域輸出商社等の輸出事業者の育成等を実施 - 輸出リスクに対応し、融資を円滑化するため、信用保証に係る保証料を支援 （2）地域産業の強みを活かした加工食品の輸出の取組支援 - 地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画した地域食品産業連携プロジェクト（L F P）を構築して行う、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した持続可能な新たなビジネスモデルの創出を支援等
3 省庁の垣根を超えた政府一体となった輸出の障害の克服等【59億円】	
（1）規制の緩和・撤廃に向けた協議の加速化 - 政府間交渉に必要となる情報・科学的データの収集・分析、輸出先国が求める植物検疫上の要求事項を満たすための体制構築等を実施 （2）輸出手続の円滑化、利便性の向上 - 研修等による実務担当者の能力向上、人員の増強や検査機器の導入、輸出証明書の発行場所の拡大に向けた体制整備等を支援 （3）生産段階での食品安全規制への対応強化 - 輸出施設の H A C C P 等認定、畜水産物モニタリング検査、インポートトレランス申請、国際的認証取得・更新等を支援	（4）輸出向け施設の整備 - 食品産業に対する輸出向け H A C C P 等対応施設の整備を支援 - コンソーシアム（畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の 3 者で組織する事業共同体）が取り組む、畜産物の流通構造の高度化等に必要な施設の整備等を支援 （5）知的財産の流出防止、侵害対策 - 海外での品種登録、東アジア地域における共通の出願審査システムの導入による審査協力体制の構築、海外での防衛的許諾、加工品等の G I 登録等を支援、相手国における我が国 G I の不正使用等の監視を強化等

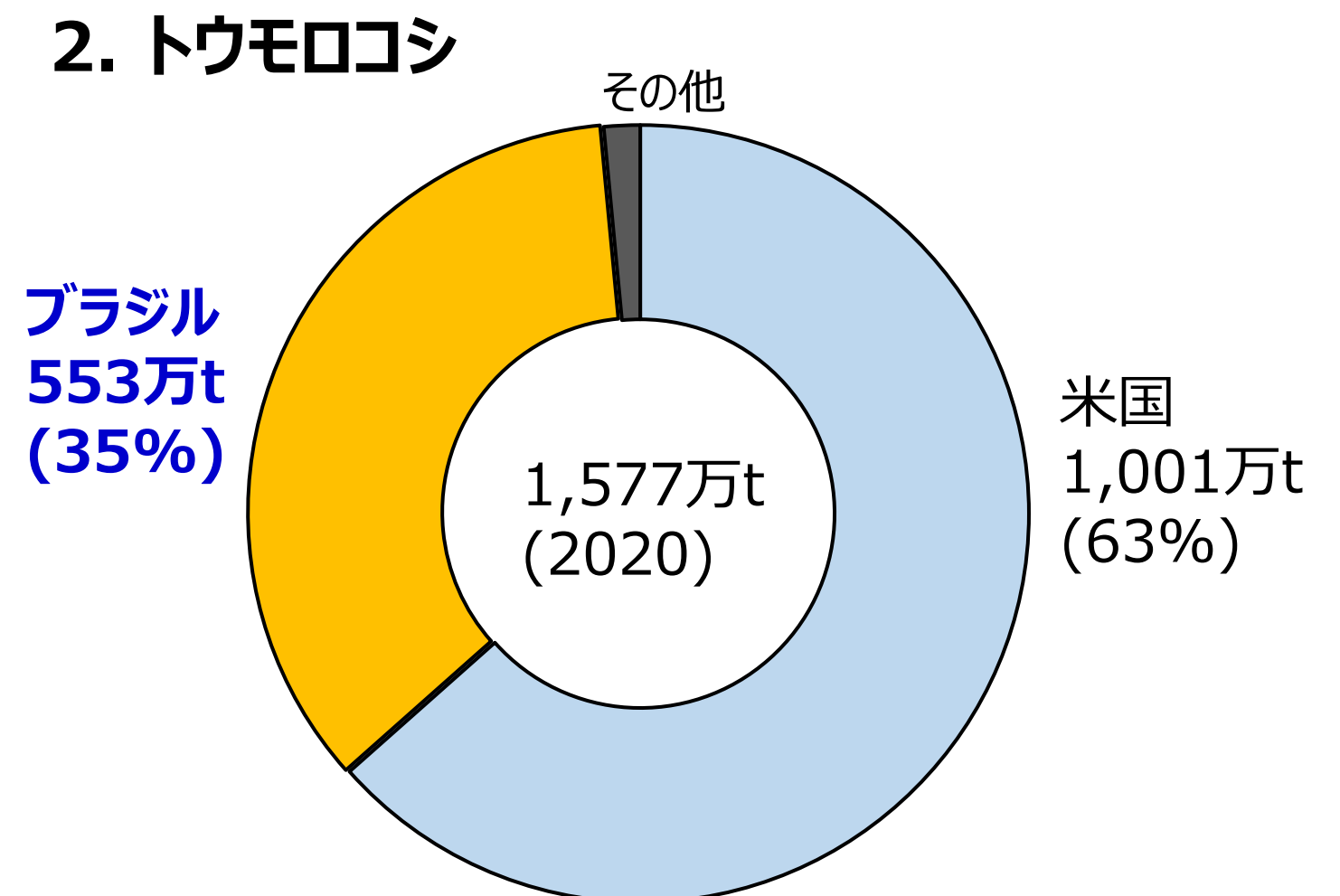
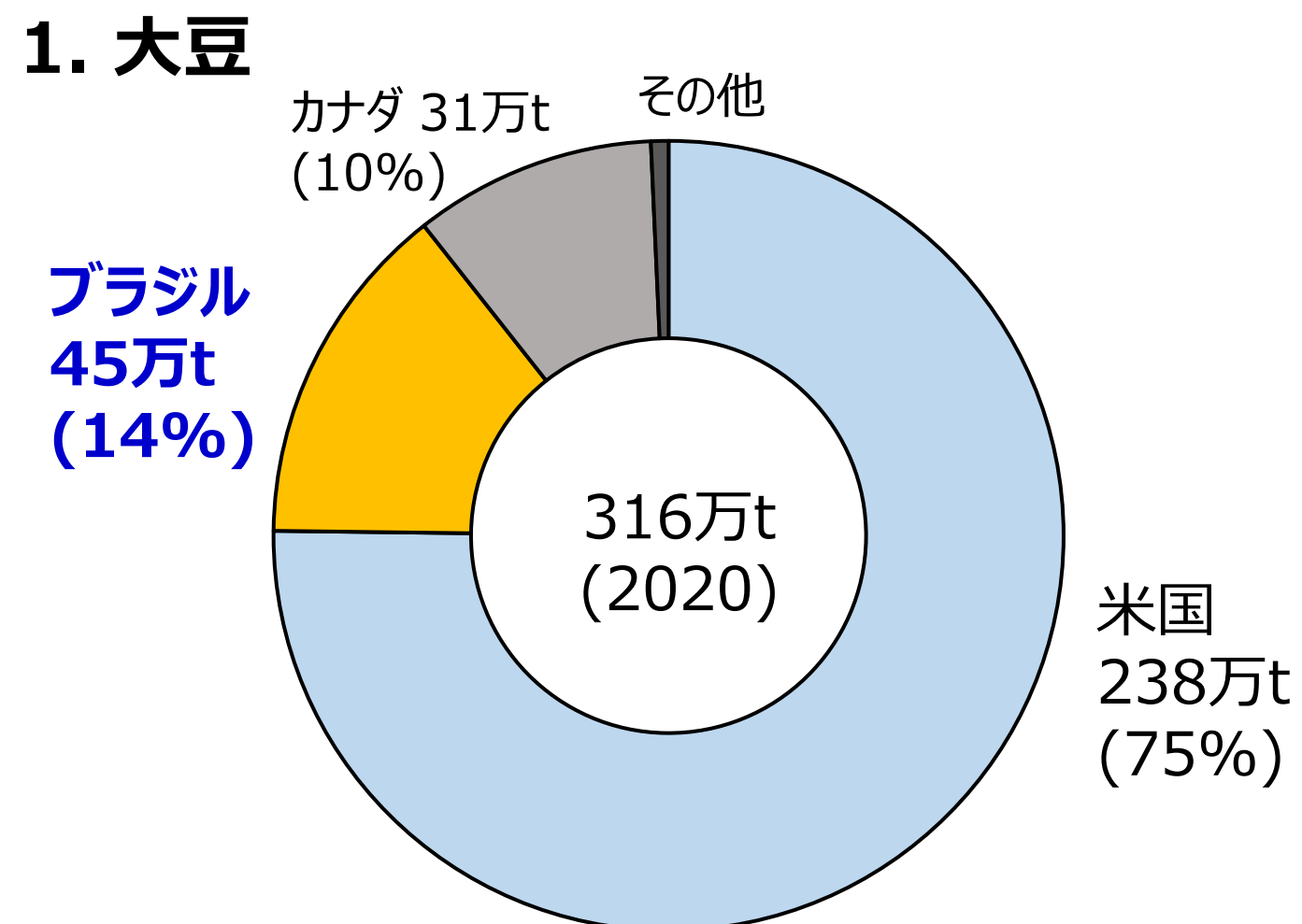
5 兆円目標に向けた更なる輸出拡大を目指す

我が国における大豆とトウモロコシの消費・輸入状況

国内消費（令和2年度）



輸入内訳（2020年）



二国間政策対話

官民合同の二国間対話、ミッション派遣等を通じ、日本の食品輸出・日本食普及、農業・食品分野での連携強化、投資・ビジネス環境の改善、食品関連規制の改善、日系農業者との連携・交流の強化等について、意見交換、議論を実施。

日伯農業・食料対話

第1回対話：平成26年12月8日於：ブラジル・サンパウロ

第2回対話：平成28年2月29日、3月1日（於：トカンチンス州パルマス市）

第3回対話：平成29年7月7日（於：ブラジル・サンパウロ）

第4回対話：平成31年8月26日（於：ブラジル・サンパウロ）

<主要議題>

①農業食品分野での日伯間の連携、②投資・ビジネス環境の改善、③穀物輸送インフラの改善、④ブラジルの食品関連規制、⑤日系農業者等との連携・交流強化 等



日亜農林水産業・食料産業対話

第1回対話：平成30年2月20日（於：アルゼンチン・ブエノスアイレス）

第2回対話：平成31年3月8日（金）（於：東京）

<主要議題>

①日亜の今後の農林水産業政策の展開方向、②日亜間のビジネス関係の強化、③投資・ビジネス環境の改善、④G20での協力、⑤穀類及び肉類に関する情報交換のための行動計画 等

第4回 日伯農業・食料対話

1 概要

- (1) 開催日：2019年8月26日（月）（於：ブラジル・サンパウロ）
- (2) 対話での主要議題
 - ① ブラジルにおける投資・ビジネス環境の改善
 - ② ブラジルにおける穀物輸送インフラの改善
 - ③ 農業・食品分野での日伯間の連携
 - ・日伯間の産学連携に係る取組及び課題等
 - ・スマート農業での日伯連携の可能性
 - ④ ブラジルの食品関連規制等について
 - ⑤ 日系農業者等との連携・交流の強化について
- (3) 日本側主催昼食会（日本食のPR及び輸出促進）
「日本食普及の親善大使」である白石シェフ調理・監修により、和牛や日本酒等の日本産食材を用いた料理・飲料を提供
- (4) 吉川大臣とテレザ・クリスチーナ大臣とのバイ会談



吉川大臣とテレザ・クリスチーナ大臣



プレゼンに耳を傾ける参加者

2 出席者

日本側：吉川農林水産大臣、松島農林水産省顧問、谷村大臣官房参事官、野口駐サンパウロ総領事、真鍋在ブラジル大使館公使及びJETRO、JICA、JBIC、食品企業、商社、金融機関等計37機関・社※の代表（出席者約100名）

※ ブラジル味の素、Azuma Kirin、三菱UFJ銀行ブラジル、BBBR、カンポ日伯農業開発、Boxon Assessoria、Brazil Venture Capital、EBARA Bombas America、IHIブラジル、日立サウスアメリカ、Harald Industria、ブラジル日本商工会議所、兼松南米、ケンブリッジ・コンサルタント、キッコーマン・ブラジル、ブラジル三菱商事、ブラジル三井物産、Mitsui Rail Capital、三井アリメントス、KPMGブラジル、コマツブラジル、商船三井ブラジル、ブラジル日清、Shimadzu do Brasil、双日ブラジル、ブラジル住友商事、Terlogs・丸紅、ポンチプロンタ広告、ブラジルヤクルト商工、ヤンマーサウスアメリカ、時事通信社、V L I、全農、伊藤忠ブラジル

ブラジル側：テレザ・クリスチーナ農務大臣、ニシモリ連邦下院議員、経済省（貿易・国際担当次官）、農牧供給食料省（イノベーション・農村開発・灌漑局長、家族農業・協同組合局部長、貿易国際関係局次長等）、国家衛生監督庁（部長）、ブラジル企業担当者等（出席者約40名）

中南米各国での農業分野の協力事業（農水省分）

＜農林水産省の取組（拠出金事業・委託事業）＞

【コロンビア】

・国際熱帯農業センターへ拠出

農業温室効果ガス削減のための栽培管理システム及び作物の開発

【ペルー】

・国際熱帯木材機関へ拠出

熱帯林及び森林プランテーションにおける森林火災予防及び対応

・国連食糧農業機関へ拠出

国際的山地流域強靱化事業

【グアテマラ】

・国際熱帯木材機関へ拠出

グアテマラにおける木材のサプライチェーンのトレーサビリティを向上させるためのメカニズムの実施

【アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、コロンビア、メキシコ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ】

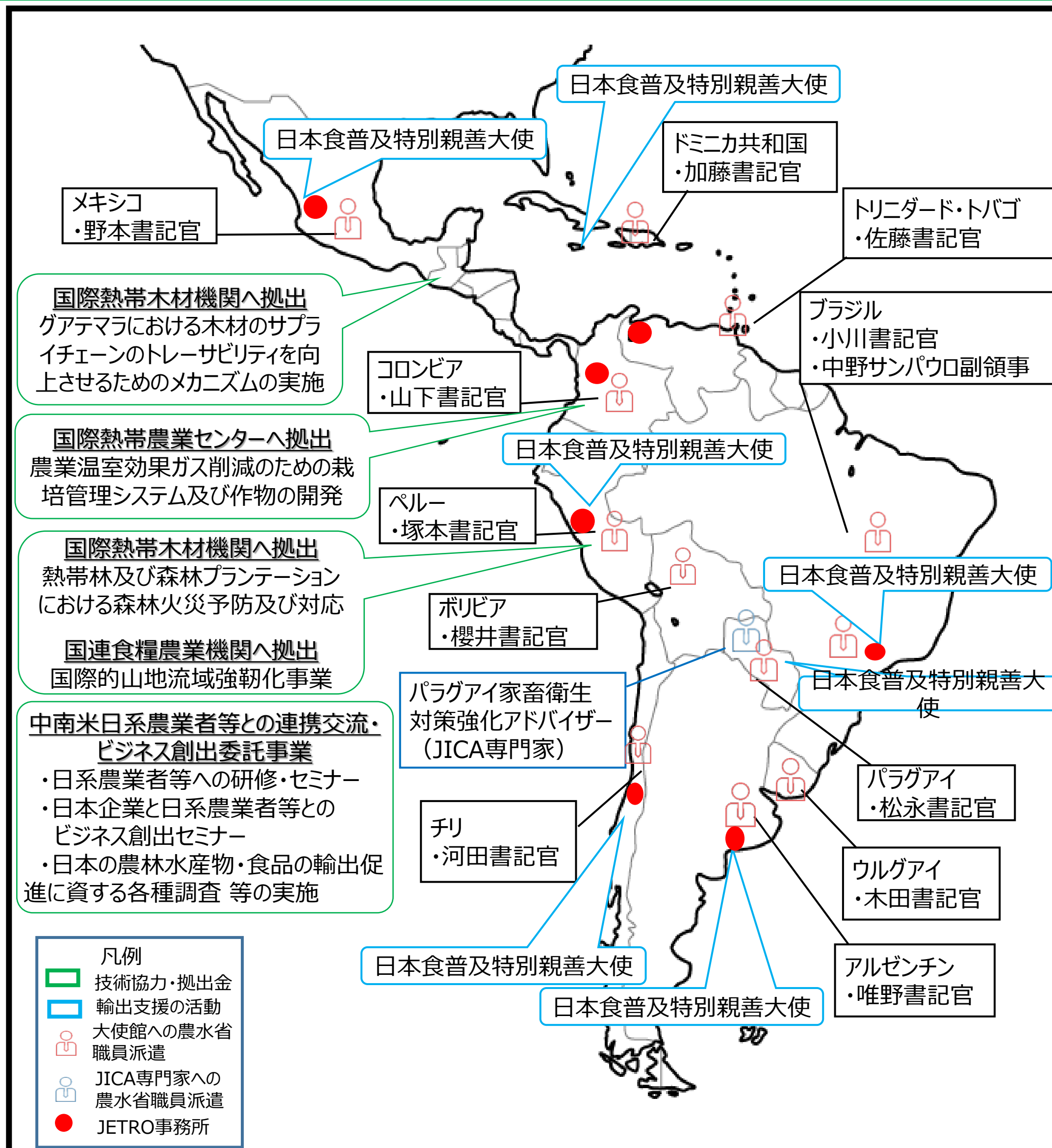
・中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業

- ・日系農業者等への研修・セミナー
- ・日本企業と日系農業者等とのビジネス創出セミナー
- ・日本の農林水産物・食品の輸出促進に資する各種調査 等の実施

＜農林水産省の取組（JICA専門家派遣）＞

パラグアイ家畜衛生対策強化アドバイザー

中南米各国での主な取組（農水省分）



中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業

日系農業者等の連携交流の強化、農業・食産業分野での日本企業の中南米におけるビジネス創出、我が国農林水産物・食品の輸出促進に貢献するため、下記の取組を実施。

日系農業者等との連携交流の強化

日系農業者等連携強化会議

中南米の日系農業者同士、日系農業者と関係者との情報交換、意見交換

日系農業者等研修・セミナー

栽培技術、販売、流通、商品開発、気候変動対策等日系農業者の関心事項について研修、セミナーを実施



農業・食産業分野での日本企業の中南米におけるビジネス創出

中南米地域連絡協議会

中南米におけるビジネス創出や交流に向けた地方公共団体、地方企業による情報交換

日本の企業と日系農業者等とのビジネス創出セミナー

農業・食産業の日本企業と中南米日系農業者等とのビジネスマッチング



日本の農林水産物・食品・食材の輸出促進

中南米への食産業展開・輸出促進セミナー

日本の食産業の中南米での展開、日本の農林水産物・食品の輸出促進のための現地情報の提供

日本の農林水産物・食品の輸出促進に資する調査

中南米における日本食の普及実態調査

中南米における日本食・食材に係る消費者パネル調査



官民合同の二国間会議（二国間農業食料対話）